

平成15年をふり返って

四階東病棟看護科長 田 中 直 子

1. 4階東病棟における患者数の現状

平成15年の入院患者様は1,015名、退院患者様は1,063名おりました。また、転科入27名、転科出は120名、死亡退院は88名という現状であった。月別の入退院数及び死亡数は表1に示す通りである。

2. 病棟目標評価

平成15年の病棟目標の一つは『安全に看護をすすめるために環境を整える』といたしました。ナースステーションや病室の整理整頓を心がけモーニングケア時には床頭台の整理整頓を行いました。ベッドサイドに荷物を置かないように患者さま、ご家族に協力を得て病室の環境を整えました。また、使用しない看護用品はその都度片付けることとして1年間実行した結果、病室は広く患者さまの足元が広がり転倒する危険性が減少したと思います。年々高齢化が進み入院患者さまの年齢も増していく中、転倒の危険因子も増えています。日々の看護ケアを通し危険因子は取り除くように今後も続けたいと思います。

二つ目は『患者さま、ご家族に対して思いやりをもって接する』ことでした。年間千人を超える患者さまが入退院されています。そのご家族にも声かけをして、ご家族が抱えている不安や希望を聴きケアするようにいたしました。退院患者さまの約8%の患者さまが死亡されている現状の中、

今後も家族看護が重要と考え次年も継続したいと思います。

3. 固定チームナーシング導入に向けて

平成16年度から看護方式を固定チームナーシングに変更します。そのため平成15年は準備期間でありました。病棟に固定チーム推進委員を設け勉強会を企画し準備した1年でした。病棟は今まで同様2チームで稼動することとしました。固定チームナーシングを行なう前に、メンバーを2～3カ月の固定とし早い時期から試験的に進めてまいりました。そのためメンバー固定に関してはスムーズに導入できたと思います。メンバーは一定期間固定になるため看護の責任が明確になります。

またチームナーシングよりは患者さまの理解が深まり、チームメンバーはお互いに刺激しあい、高めあい、協力しあう看護チームとなると思います。導入してまだ1カ月のため思考錯誤しながら進めている状況です。

しかし、他方のチームの患者さまの状態把握が不十分となっているのも現状です。この点については今後の課題となっています。

平成15年12月に係長が2名体制となりました。教育と業務担当に分かれ病棟運営をして患者さま中心の看護の提供、さらに質の高い看護の提供に向け、係長、スタッフ一丸となり取り組みたいと思います。

表1 月別入退院死亡患者数

